

10. CBD 診療ガイドライン CQ 一覧

第1章 疫学

CQ1-1 我が国における有病率はどの程度か？

CQ1-2 我が国において増加しているのか？

CQ1-3 男女差，人種差，好発年齢は？

第2章 病因・病態（遺伝子，生化学を含む）

CQ2-1 病態機序はどのようなものがあるのか？

CQ2-2 患者脳に蓄積するタンパクはどのようなものか？

CQ2-3 遺伝的危険因子にはどのようなものがあるのか？

CQ2-4 発症リスクにはどのようなものがあるか？

第3章 病因・病態（病理）

CQ3-1 病理はどのようなものであるか？

CQ3-2 臨床型による病理像の違いは？

第4章 症状・臨床病型

CQ4-1 臨床病型にはどのようなものがあるか？

CQ4-1' 精神症状で発症する場合はあるか？

CQ4-2 運動症状と診断は？

CQ4-3 非運動症状にはどのようなものがあるか？

CQ4-4 精神症状にはどのようなものがあるか？

第5章 検査

CQ5-1 診断に必要な脳形態画像検査は何か？

CQ5-2 診断に必要な機能画像検査(MIBG 心筋シンチ ,DAT-scan を含め)は何か？

CQ5-3 平衡機能検査は診断に有用か？

CQ5-4 診断に役立つ血液・脳脊髄液検査にはどのようなものがあるか？

CQ5-5 重症度判定あるいは予後判定に有用な検査は存在するか？

第6章 診断基準・鑑別診断・重症度判定

CQ6-1 臨床診断はどのように行うか？

CQ6-2 診断基準にはどのようなものがあるか？

CQ6-3 鑑別すべき疾患にはどのようなものがあるか？

CQ6-4 重症度の判定はどのように行うか？

CQ6-5 診断に有用な検査はあるか？

第7章 治療（薬物療法）

CQ7-1 病状の進行を遅らせる治療はあるのか？

CQ7-2 運動症状を改善する薬物はあるか？

CQ7-3 精神症状を改善する薬物はあるか？

- CQ7-4 精神症状（抑うつ，不安，アパシー）を改善する薬物はあるか？
CQ7-5 精神症状（認知機能低下）を改善する薬物はあるか？（認知症 GL 参照）
CQ7-8 再生医療への展望は？

第8章 リハビリテーションと非薬物療法

- CQ8-1 精神症状に対する介入方法はあるか？
CQ8-2 認知行動療法は有用か？
CQ8-3 言語訓練は？
CQ8-4 心理療法は有用か？
CQ8-5 リハビリテーションは有用か？（嚥下，転倒は除く）
CQ8-6 脳トレーニングは予後を改善するか？

第9章 経過・予後

- CQ9-1 発症症状，症状の進展にはどのようなものがあるか？
CQ9-1' 精神症状で発症する場合があるか？
CQ9-2 臨床病型による予後はどうか？

第10章 合併症と対策

- | | | |
|--------|---------|--------------------------|
| A.嚥下障害 | CQ10A-1 | 嚥下障害はどのようにして診断するか？ |
| | CQ10A-2 | 嚥下障害が現れたときの対処はどうか？ |
| B.転倒 | CQ10B-1 | 転倒・外傷の頻度と特徴は？ |
| | CQ10B-2 | 転倒を減らす方法は？ |
| | CQ10B-3 | 転倒による外傷を減らす方法は？ |
| | CQ10B-4 | リハビリテーションは転倒防止に有用か？ |
| C.排尿障害 | CQ10C-1 | どのような排尿障害をきたすか？ |
| | CQ10C-2 | 排尿障害の治療はどうか？ |
| | CQ10C-3 | その他の自律神経障害ではどのようなものがあるか？ |

第10章 患者，家族・介護者への指導・助言

- CQ11-1 患者に対する指導はどのように行うか？
CQ11-2 家族・介護者への指導・助言はどのように行うか？

第11章 社会資源の活用

- CQ12-1 利用できる支援制度にはどのようなものがあるか？